

谷口まさのり

所沢市政レポート

2023年6月議会
一般質問(要旨) 編

連絡先：〒359-1151 所沢市若狭1-2961-1-213

電話：04-2941-5111/FAX：04-2941-5112/tani.eco@dream.ocn.ne.jp

FB、Instagram、Twitter更新中!『谷口雅典(まさのり)』で検索下さい!

「始発男!」は
子どもにツケを
残さない!



- ① **気候危機! 対応を! 自然エネルギーの爆発的! な推進!** (太陽光発電の設置義務化条例の提言)
- ② **ヤングケアラー対策で、効果ある支援を!** ⇒ 裏面
- ③ **ChatGPTをはじめとする「生成AI」の試験的活用を提言**
- ④ **「暖房費0円生活」のススメ**の提言⇒ 今後のレポートで改めて報告・紹介

◆ **自然エネルギーの爆発的! な推進! の為、
「太陽光発電の設置義務化条例」を提言!**

◆ **ChatGPTなどの「生成AI」の
活用を提言!**



← **始発男!** の谷口



Q: 2022年12月に東京都で可決された「**新築建物を対象とした、太陽光発電の設置義務化の条例**」や2023年3月に可決された、川崎市の同様の条例にならい、所沢市でも同じ条例を検討し、制定にこぎ着け、自然エネルギーの爆発的! な推進の為の施策を行ってはどうか?

(市長)

A: 設置義務化は、ゼロカーボンシティの実現に有効と認識している。しかし、義務化にあたっては、行政として補助金の増額等、何らかの支援が求められ、財政規模的に違う東京都などの新築住宅を対象とした、同様の義務化は難しいのが現実である。

◆ 私、谷口まさのりとしては、**日本の気候危機対策がヨーロッパの先進的な国々に対し、「3週遅れ」**的な実態に鑑み、日本において、**「先進的な自治体同士」が連携し、「日本政府を突き動かしていく!」**ような動きの提言・行動、そして、所沢市が最大限できることを今後も提言して参ります!



22番 谷口雅典 議員

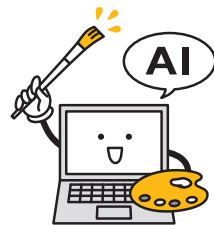


22番 谷口雅典

↑ 実際のグッズを使っての【暖房費0円生活】を提言。
6月議会で提言しなければ、今冬の施策に反映されないと考え、このタイミングで取り上げました。◆(録画21分55秒から)



谷口



Q: 先日、既に4/20より**「ChatGPT」の試験使用を開始した横須賀市**の担当者と話す機会があった。

横須賀市以外でも、茨城県の笠間市・鹿嶋市、そして群馬県の藤岡市など、試験的活用が全国的に広がってきている。

そこで、これらの先進的な自治体から情報を入手し、所沢市もリスク管理を行いながら、試験的な活用から始め、今後の可能性について評価することからスタートしてはどうか?

(部長)

A: 「生成AI」の活用について、市役所内プロジェクトチーム内で検討を開始している。

職員によるトライアル利用に加え、

(谷口が言及した)横須賀市などの先進自治体の研究結果やガイドラインを通じて活用可能性や課題を洗い出した上で、夏頃をメドに所沢市版ガイドラインを策定し活用を開始していく。



谷口まさのり 一般質問
中継録画QRコード(◆40分51秒から)

(裏面へ)

ヤングケアラーについて

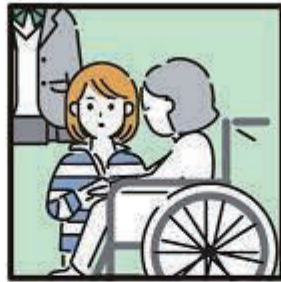
「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている、子どものことです。
責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



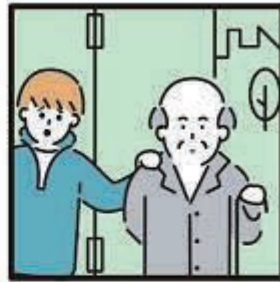
障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼児きょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の難せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。 こども家庭庁HPより

◆入間市、川口市などを参考に、「こども未来部」が司令塔となつての「効果ある」取り組みを！



谷口

(2021年6月、2022年3月に続き、ヤングケアラーの問題を取り上げました。)

Q:こども未来部が司令塔となり、 ◆28分08秒から

①小・中学校の学校ごとに、深刻な状況のヤングケアラーを把握し一刻も早く適切な機関につなげて、入間市や川口市などと同様の「(ヤングケアラーに特化した)無料ヘルパー派遣」を行うべきでは？

②並行して、入間市のように、タブレット等を活用して、児童・生徒に対し、ヤングケアラーの動画視聴を行った上で実態調査を行い、新たなヤングケアラーの把握と直接的支援を行うべきでは？

(市長)

A:議員ご案内の仕組みも参考にさせていただき、ご近所の声掛けから機関につながるまで総動員して、必要とする子どものケアをしっかりと貫徹できるよう努力していく。

谷口としては、少なくとも入間市と同様に「ヤングケアラーに特化した効果的な取り組みが実現」するよう、これからも本テーマに取り組んで参ります！

谷口まさのり プロフィール

詳細エピソード付き！プロフィール！

- ◆1965年(昭和40)北海道生まれ(留萌市)／埼玉大学 工学部 環境化学工学科卒業
- ◆栗田工業(環境系)や省エネ企業に15年間勤務／1997年の『地球温暖化防止京都会議(COP3)』参加
- ◆2011年4月 所沢市議選に初当選、現在4期目 (前)副議長 無所属『改革派!』として活動中!
- ◆趣味等:スポーツ(西武ライオンズファンクラブ会員)／カラオケ／カブトムシ採り／大のビール党
日課はメダカのエサやり、ウォーキング時の「花」の観察
- ◆環境カウンセラー(環境省資格)／社会保険労務士(年金と雇用の関連資格)／認知症サポーター『始発男』『始発の谷口』と呼ばれております。
- 始発! 前の時間(小手指駅は、朝4:40から／狭山ヶ丘駅は、朝5:00から)から、駅では、13年前より、レポートを配布しております。

